

令和6年度亀岡市予算要望書 桂川市長に提出



要望書では、①高度急性期医療の対応力を強化する医療提供体制の拡充②いじめや不登校対策支援の強化③地域公共交通の利便性の向上—など計40項目を求めました。

議員活動より

亀岡市防災士養成講座受講

公明党議員団3名、「防災士」の資格を取得しました。
地域防災力の向上に寄与できるよう努めてまいります。



会派視察 令和5年8月1日～3日



▲鶴ヶ島市議会議場にて

鶴ヶ島市：シルバーeスポーツ事業について
鴻巣市：書かない窓口について
いわき市：脱炭素社会実現プランについて
視察内容を一般質問に取り上げました。



街頭演説会



▲オレンジリボン街頭



▲物価高対策街頭



▲憲法記念日街頭

国政 暮らし こうなる2024 子育て支援、物価高に対応！

- | | | | |
|------------|---|------------|--|
| 子育て | ◆ 児童手当の対象を高校3年生まで拡充。所得制限を撤廃し、第3子以降は増額 | 教育 | ◆ 保育士の配置基準を見直して1人が担当する子どもの人数を減らし、見守りを手厚く |
| 賃上げ | ◆ 医療・介護従事者らの処遇改善
◆ 賃上げ企業の法人税減税を拡充 | 物価高 | ◆ 1人当たり計4万円の所得税と住民税の定額減税を24年6月から実施 |
| 住宅 | ◆ 省エネ性能の高い住宅を購入する子育て世帯や若い夫婦を対象に、住宅ローン減税の優遇を維持 | | ◆ 納税額が少なく満額減税し切れない人には現金を給付 |

令和5年12月議会補正予算より

◆ 亀岡市低所得世帯支援給付金事業

低所得世帯の負担を軽減するため、1世帯当たり7万円の給付。振込は令和6年2月～4月毎月曜日

◆ 第7弾 かめおか応援クーポン事業

令和6年2月1日（木）より、各自治会を通じて配布。自治会未加入世帯は市役所で配布。利用期限3月31日（日）まで。
お問い合わせ：商工観光課 ☎0771-25-5033

◆ 亀岡市立認定こども園条例及び 亀岡市立保育所条例の一部改正

※認定こども園は保護者の就労の有無に関わらず利用が可能。別院保育所、保津保育所、市立幼稚園を「山の自然こども園別院」「保津こども園」「亀岡こども園」として、こども園に移行。

移行時期：令和6年4月1日 山の自然こども園別院。
令和7年4月1日 保津こども園、亀岡こども園。



山本ゆみこの活動報告

暮らしに、希望と活力を！ 未来に、安全・安心を！

ごあいさつ

2024年が開幕いたしました。昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、少しずつイベントや行事が開催されるようになり、活気が徐々に戻ってまいりました。一方で物価高騰による私達の生活への影響や、少子高齢化による人口減少、それに伴う人材不足などの問題も発生している状況です。また気候変動の影響による自然災害への対応も求められています。さまざまな困難を克服し、希望溢れる地域社会を築いていくため、本年も生活現場に根差して市民の皆様の声を丁寧に聴き、暮らしを支えるための政策を実現していけるよう、決意も新たにしっかり働いてまいります。

実現しました！

防災士資格取得助成制度の導入

「防災士」の取得促進により、災害時における市民対応力の強化を図るため、市主催で防災士養成講座を実施し、講座の受講費用も負担する事業を導入。



AEDケースに胸部を覆う三角巾を配備

公共施設に設置している自動体外式除細動器（AED）のケース内に、女性の傷病者のプライバシーを守り、躊躇せずにAEDを使用してもらえよう三角巾を配備。



転落事故が起きた側溝にグレーチングを設置

Before



After

不在者投票用紙の請求がオンラインで可能に

不在者投票用紙の請求がマイナポータル「ぴったりサービス」からも可能になった。亀岡市選挙管理委員会に原則として郵送で請求していたが、その手間が省け選挙人の利便性向上が図られた。



一般質問

に立ちました！ *要旨を抜粋しています*

がん治療に伴う、アピアランスの変化を補完する経済的負担の軽減を

2023年6月議会での質問

Q がん患者の方の就労や社会参加などを支援し、療養生活の質がより良いものになるよう、がん治療によるアピアランス（外見）の変化を補完する医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用の補助を行う考えは。

A 国や府の動向を注視するとともに、本市としてどのように実施できるか、検討していく。

献血は命をつなぐボランティア、若年層をはじめ普及啓発を

2023年9月議会での質問

Q 少子高齢化により献血可能人口が減少する中、将来にわたって安定的に血液を確保するためには、若年層の献血者をいかに増やすかが喫緊の課題である。献血可能年齢である16歳に間もなく達する中学生に献血の意義や重要性を伝える機会として献血教育を実施する考えは。

A 子どもたちに献血の趣旨や重要性を、命の大切さと併せて学びに取り入れることは大切なことであり、今後、国が作成したテキストやポスターなども活用しながら、学校や関係機関と連携し啓発に取り組む。

被災者の生活再建を伴走型で支援する体制の構築を

2023年12月議会での質問

Q 政府は令和5年5月、国の防災基本計画を修正し、初めて災害ケースマネジメント（被災者一人ひとりの実態を把握した上で、関係者と連携し、被災者の自立・生活再建が進むよう継続的に支援する取組）の整備促進を明記した。実施への課題と今後の取組について本市の考えは。

A マンパワー不足が最も大きな課題であり、各分野の関係者などとの連携体制が必要と考える。全国の自治体が当該取組を実践できるよう内閣府が示している手引書などを参考に、本市における実施について検討していく。

日々の活動より



年末交通事故防止府民運動



年末一斉クリーン大作戦

亀岡市議会議員

山本 ゆみこ

皆様からのご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください

ホームページ



〒621-0114 亀岡市東別院町鎌倉雁松 9-37

E-mail yamamo630216@zeus.eonet.ne.jp

Tel&Fax 0771-27-3742

携帯 080-1420-4423

